

# ダイワ厳選コモディティ・ファンド (ダイワ投資一任専用)

&lt;2796&gt;

追加型投信／海外／その他資産（商品先物）

第3期 2024年6月17日決算

日経新聞掲載名：F 厳選コモデ

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することで、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第3期末	基準価額	19,012円
	純資産総額	1,949百万円
第3期	騰落率	32.6%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0279620240617◇



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：14,335円

期末：19,012円 (分配金0円)

騰落率：32.6% (分配金込み)

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券を通じて、商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行った結果、商品市況が上昇したことや為替相場が円安が進んだことなどから、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 6. 16~2024. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	160円	0.962%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,587円です。
（投 信 会 社）	(138)	(0.829)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(18)	(0.111)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	21	0.128	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(21)	(0.128)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	5	0.030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.011)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	186	1.120	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

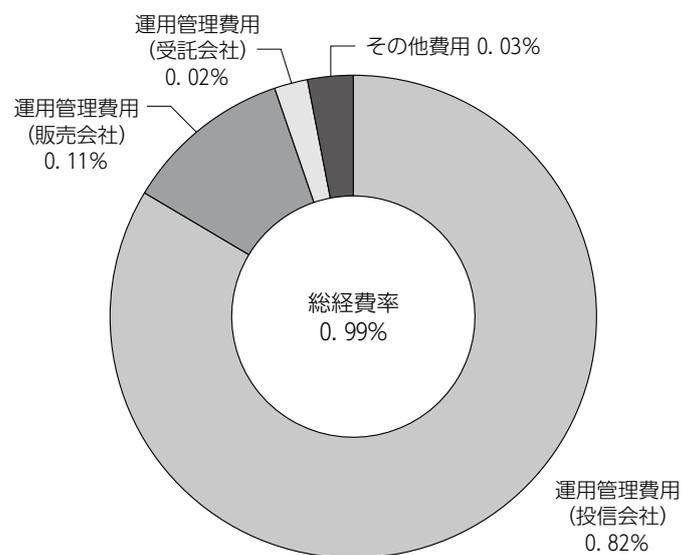
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.99%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



	2021年 9月17日 設定	2022年 6月15日 決算日	2023年 6月15日 決算日	2024年 6月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	16,038	14,335	19,012
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	60.4	△10.6	32.6
純資産総額 (百万円)	100	339	741	1,949

(注 1) 比率は小数点第 1 位未満を四捨五入してあります。

(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

商品市況

商品市況は上昇しました。

商品市況は、当作成期首から2023年9月にかけて、エネルギー銘柄がけん引して上昇しました。その後は、エネルギー銘柄が下落したことから商品市況も下落しましたが、2024年に入ると、エネルギー銘柄が上昇に転じたことや金属銘柄が上昇したことを受けて、商品市況は上昇しました。原油 (WTI) は、2023年7月から、インフレ圧力緩和に伴う米国の利上げ長期化懸念の後退や、ウクライナ情勢悪化によるロシア産原油等の輸出停滞観測、サウジアラビアとロシアが原油供給制限を年末まで延長すると表明したことなどから上昇しました。10月以降は、景気減速懸念やOPEC (石油輸出国機構) と非加盟の主要産油国からなるOPECプラスが追加の協調減産を見送ったことなどから、12月にかけて下落しました。2024年1月からは、中東情勢の悪化が原油供給に悪影響を及ぼすとの見方などから、4月上旬にかけて上昇しました。その後は、FRB (米国連邦準備制度理事会) による利下げ観測が後退したことなどから、当作成期末にかけて上げ幅を縮小しました。貴金属は、2023年10月から、地政学リスクの高まりを受けて、安全資産としての需要が増加したことなどから上昇しました。工業用金属は、2024年2月から、中国の景気刺激策などによる需要増加が期待されたことなどから上昇しました。

## ■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年6月末にかけて上昇しました。しかし7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で上昇しました。しかし11月以降は、米国金利の大幅な低下を背景に日米金利差の縮小が意識され、米ドルは対円で下落しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高となりました。その後は、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行いました。円安基調は継続しました。

## ■米国短期金融市況

米国の短期国債利回りは5%台前半で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2023. 6. 16 ~ 2024. 6. 17)

### ■当ファンド

「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ■ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

主に商品先物取引に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	当期	
	2023年6月16日 ～2024年6月17日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		9,011

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

今後も、「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。

### ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

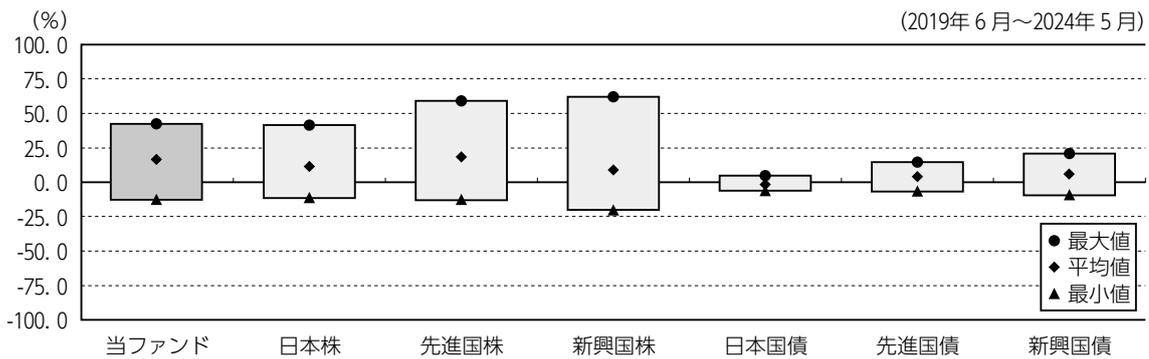


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/その他資産 (商品先物)	
信託期間	無期限 (設定日: 2021年9月17日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) の受益証券
	ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド	イ. 商品先物取引 ロ. 商品先渡取引 ハ. 商品価格への連動をめざすETF (上場投資信託証券) ニ. 商品価格への連動をめざすETN (上場投資証券) ホ. 米国国債
マザーファンドの運用方法	①主として、以下の投資対象に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行ないます。 イ. 商品先物取引 ロ. 商品先渡取引 ハ. 商品価格への連動をめざすETF (上場投資信託証券) ニ. 商品価格への連動をめざすETN (上場投資証券) ホ. 米国国債 ②運用にあたっては、ブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity Index) を参考に流動性等を考慮して投資ユニバースを作成します。その後、セクター比率をブルームバーグ商品指数 (Bloomberg Commodity Index) を参考に決定し、セクター毎に当該セクターに帰属する商品の中から推定保管コストの低い銘柄を選定し、当該銘柄を対象とする商品先物取引、商品先渡取引、ETF、ETNに投資することを基本とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	43.0	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
平均値	17.1	12.1	19.0	9.5	△ 1.0	4.7	6.6
最小値	△ 12.1	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数値の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



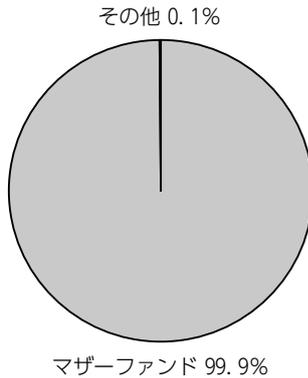
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

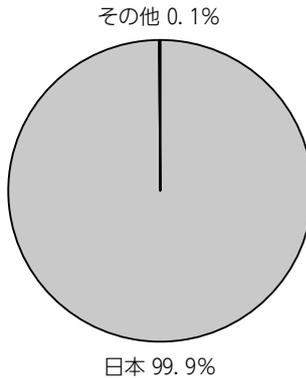
### 組入ファンド等

	比 率
ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド	99.9%
その他	0.1%

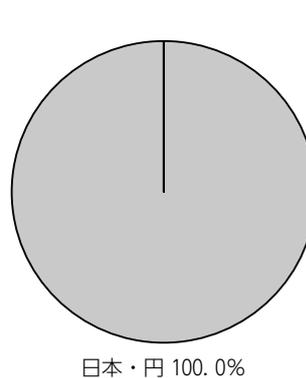
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年6月17日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	当期末
	2024年6月17日
純資産総額	1,949,614,935円
受益権総口数	1,025,472,703口
1万口当り基準価額	19,012円

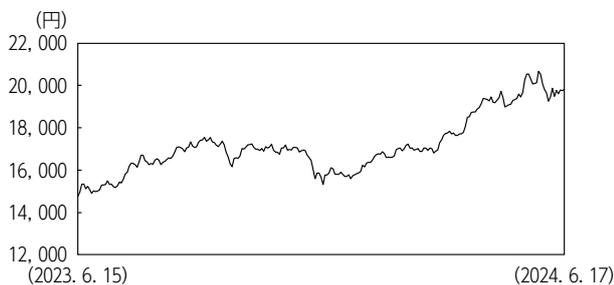
\* 当期中における追加設定元本額は819,528,427円、同解約元本額は311,151,957円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド (作成対象期間 2023年6月16日～2024年6月17日)

#### ■基準価額の推移



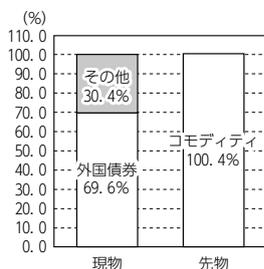
#### ■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料 (先物・オプション)	22円 (22)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (2)
(その他)	(2)
合 計	26

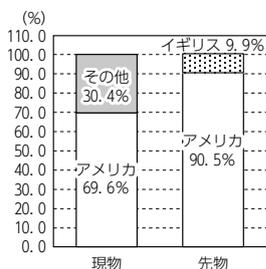
#### ■組入上位銘柄

銘 柄 名	通 貨	比 率
U. S. TREASURY BILL 2024/11/29	アメリカ・ドル	21.4%
SILVER SEP 24 買	アメリカ・ドル	20.5
COPPER SEP 24 買	アメリカ・ドル	19.9
U. S. TREASURY BILL 2024/10/3	アメリカ・ドル	19.1
U. S. TREASURY BILL 2025/3/20	アメリカ・ドル	17.9
U. S. TREASURY BILL 2024/8/8	アメリカ・ドル	11.2
COFFEE SEP 24 買	アメリカ・ドル	10.2
NY HARBOR ULSD (HEAT OIL) AUG 24 買	アメリカ・ドル	10.1
LIVE CATTLE AUG 24 買	アメリカ・ドル	10.1
SOYBEAN MEAL (CBT) DEC 24 買	アメリカ・ドル	10.0
組入銘柄数	12銘柄 (先物含む)	

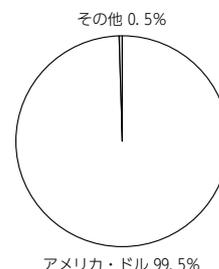
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。